### 2017年 No.105

発行者 社会福祉法人健康の森学園 発行責任者 施設長 真鍋 衛 〒718-0313 岡山県新見市哲多町大野2034-5



# 大人として大切なこと

理事長岡

社会参加によって地域社会で生き生きと暮らせるよう様々な施策が進 害のある人たちが働く上で支障になることの改善を図り、 害者の法定雇用率の引き上げや雇用促進法の改正など、国をあげて障 の年に比べ七百人余り増え、 報じられました。 岡山県内企業の障害者雇用率が過去最高の二・四五%となったことが ことがあります。 なったことを自覚し、 から歩んでいく五年先、 人を見ていると、それぞれが頑張ってきた二十年間を振り返り、 をしました。背筋をしっかり伸ばし、 められています。 大人として大切にしてもらいたいことの一つに「はたらく」という 平成二十八年度成人式が、一 十三名の新成人の皆さんは、 職員など大勢の温かい祝福を受けて、 先日の山陽新聞(平成二十九年一月二十二日)に、 従業員五十人以上の民間企業で働いている人は、 今後の決意を固めているように感じました。 十年先の自分の姿を頭に描きながら、 七千人近くになったということです。 月七日出 本学園会議研修室で開 新成人の保護者を始め、 施設長の式辞を聞いている新成 晴れて大人への仲間入り 就労による これ 前

またでは、 お成人の皆さんが所属している畜産・果樹班や農産・園芸班では、 新成人の皆さんが所属している畜産・果樹班や農産・園芸班では、 新成人の皆さんが所属している畜産・果樹班や農産・園芸班では、

生の幸せをしっかりとつかんでほしいものです。 生の幸せをしっかりとつかんでほしいものです。 はたらく」ということは、自分なりの仕事を通じて社会の一員として「人業株式会社の大山泰弘会長は、ある導師(僧侶)のことばとして「人業株式会社の大山泰弘会長は、ある導師(僧侶)のことばとして「人業株式会社の大山泰弘会長は、ある導師(僧侶)のことばとして「人業株式会に貢献するということです。障害者雇用で有名な日本理化学工で社会に貢献するということは、自分なりの仕事を通じて社会の一員とし

壽

H

# 宿泊学習・園外学習に行ってきました

用者33名と引率 へ出かけました。 11月15・16日宿泊学習で京都・琵琶湖方面 今回は農産班・林産班の利

支援員7名、



域生活者の

方と意見交

劇を楽しみ、

た。二日目は、

ショッピングを 車に乗ったり、 ティーで大観覧 大阪エキスポシ

でジェットコースターやメリーゴーランドな 鷲羽山ハイランドへ行きました。当日は快晴 11月22日園外学習で畜産班の利用者17名が

ど乗り放題で楽しく過ごす事が出来ました。

な一日でした。 も一緒に踊り有意義 今年はリオ五輪があ バをみんなで踊りま デジャネイロのサン りましたが本場リオ 度に「オブリガード 係員の方から乗降の て頂きました。また、 (ありがとう)」と言っ 同行した職員

# 第37回手をつなぐ育成会岡山県大会

を観たり、 名の方が本人部会に参加してアトラクション ました。健康の森のグループホームからは6 県大会が開催されました。県内より一般部会・ 文化プラザにて第37回手をつなぐ育成会岡山 本人部会合せて約500名が参加して行われ 11月27日 (日岡山総合福祉会館・岡山市天神 午後の分科会に参加して県内の地

こざいます。 おめでとう られました。 表彰を受け の方が勤続 この度3名 換をしまし た。また、





## 第26回マラソン大会開催

ソン大会が開催され、 12月2日 金第26回岡山県健康の森学園マラ 4コースに分かれてタ イムを競い合いました。

を食べながら、交流を 深める事が出来ました。 と温かい豚汁やお弁当 は来園して頂いた方々 催されました。閉会式で トリーがあり盛大に開 含め約130人のエン 参加して頂き、 近隣団体の方々に多数 学園生

## 餅つき大会に参加

餅つき大会に参加させていただきました。 12月9日 倫福祉ワークセンター阿新の 今



ざいました。 がったお餅はぜんざ流しました。出来上 ワークセンター阿新 味しかったです。 利用者が参加して交 の皆様ありがとうご べました。とても美 いや豚汁に入れて食 回は畜産班の3名の

合ってくれるよ き合う事で相手は自分の良い所を出して付き お迎えし「利用者の意欲を育てる職員」と題 してお話をして頂きました。「相手の長所と付 元哲多町教育長で慈眼寺住職の和氣弘宗氏を 12月14日水職員研修を行いました。講師



職員は一生懸命 にメモしていま した。参加した

保さんが開会の挨拶をし、会がスタートしま また、この日は特別に美味しいお弁当やケー した。利用者の方の出し物があり、 なりクリスマス会が行われました。会長の廣 キを注文して食べ 12月27日火にともだちの会の役員が中心と ダンスなど次々と披露されました。 漫才やカ

レゼントを貰って タクロースよりプ 勝った人からサン たくさん見られま の笑い声や笑顔が いました。皆さん ゲームを行い、 クロースに変身し 鍋施設長がサンタ ました。最後に真 じゃんけん



# 過去最多13人の新成人(表紙)

護者ら計約70人から大人の仲間入りを祝福さ れました。 た。過去最多の13人の新成人が園生や職員、保 平成29年1月7日(土)に成人式がありまし

と力強く述べました。 前進していきます」 に向かって一歩ずつ 立という大きな目標 祝辞。新成人代表の り開いてほしい」と ず、明るい未来を切 感謝の気持ちを忘れ 太田井樹さんが「自 あいさつ、思いやり、 真鍋衛施設長 か



用者の一人ひとりが担当している仕事を寸劇 もりGO!」でした。各作業班に分かれて利 ました。今年の施設のテーマは、「施設けん 2月18日出に第26回学習発表会が開催さ

じめ、 の方や来賓の方をは 表しました。 保護者 さんの笑いや拍手を 頑張っている姿を発 せて頂き大盛況に幕 間には学園の農産物 頂きました。休憩時 やスライドで表現し を閉じました。 や乾椎茸の販売もさ 支援学校の皆

強しました。 を中心に色々な場面でのあいさつの仕方を勉 生を講師に迎え、お茶の出し方、 目の接遇研修会を実施しました。川崎晴美先 就労移行事業では2月21日怺今年度第3回 いただき方

んの意識付けにつなげたいと思います。 きました。来年度も引き続き実施して、 面接会では礼儀正しい態度で参加する事がで 今年度、3回の研修の成果もあって、 皆さ 就職



## すずらんハイツの浴室完成 さでゆったりと入 ずらんハイツA棟・ 浴する事が出来ま の浴室の2倍の広 しました。今まで B棟の浴室が完成 12月28日休にす 1月5日より

者の皆さんも喜ん で入浴しています。 利用を始めて入居

## 施設サービスアンケート調査結果

平成28年度

対象者(施設利用者46名、保護者22名 合計68名)

	満足	まあまあ満足	どちらでも ない	いくらか 満足	不満	無記入	合計
建具・設備に支障ありませんか	34	14	7	4	5	4	68
職員の態度はどうでしたか	36	19	7	1	4	1	68
職員の言葉づかいはどうでしたか	43	16	3	1	4	1	68
職員の支援技術は適切ですか	36	22	3	1	4	2	68
職員の対応が早いと思われましたか	36	15	7	1	6	3	68
食事の内容はいかがでしたか	36	19	4	1/100	5	3	68
専門的な助言・援助が得られましたか	37	18	7	0	3	3	68
気兼ねなく相談ができましたか	36	20	5	2	4	1	68
期待通りのサービスになっていましたか	37	16	8	2	4	1	68
約束した支援が実行されていますか	39	16	11	0	0	2	68
非常時の対応などに不安はありませんか	37	17	8	1	3	2	68
必要な情報について伝達は適切でしたか	38	18	7	0	1.	4	68
利用を継続したいと思われますか	利用したい 44		分からない 8		無記入 16		68

## 編集後記

ます。 育て、 地味で、 替えをします。 せてくれることを願っています。 経験を生かし芽を出し花を咲かせ、 道の掃除も兼ね落ち葉を集め、 もみ殻やおが屑を頂いて使っています。 あります。 家事生活班の稲作の元肥になり、 肥は豊かな土となりよみがえります。 年度末を迎え学園を巣立っていく一粒の種たちはこうした 自立訓練事業の畜産・果樹班は作業内容に鶏舎・牛舎掃除 シュレッダーにかけた排紙も使い、 畜産・果樹班の牧草や果樹の肥にもなっています。 、根気、 鶏舎や牛舎の衛生的な環境を保つように定期的に床 、やる気が必要な作業です。やがて、床替えした堆 床替えには地域のライスセンターや製材所で、 その落ち葉も床に混ぜて使い 農産・園芸班の野菜や花を 社会に役立つ実をみのら そしてその土は林産・ さらに秋には山や沿 自然に帰します。

## 買い物学習



3月2日、3日、6日、9日の4回に分けて農産班と 畜産班が買い物学習に出かけ、生活や作業に必要な衣類 や日用品の購入をしました。利用者の方の個性を尊重し、 予算内で買い物をします。高粱市内や、新見市内の店で、 現金で購入し、レシートをもらいます。学園に帰ってく ると計算できる人は計算し残高の確認をします。昼食は 外食です。今年度、三度目の買い物学習でしたが回数を 重ねる事で衣類や日用品の選び方やお金の支払い方、食 事などのマナーが上達しているように感じました。